

《旗立三丁目緑地北》目標林型と整備方法 (案)

仙台市森林アドバイザーの会

目標林型 (目指す森のイメージ)	整備方法
気持ちの良い森 見通し(見晴らし)がよい、風が抜ける	視界をさえぎる樹木やその枝、低木層、背の高い草本層の除去 範囲は、歩道から最大 20m 程度
五感を刺激する森 木漏れ日、花、紅葉、香り、虫や鳥の声、せせらぎ、明暗や広狭の変化がある	花や実、紅葉が楽しめる植物を残す 虫や鳥を呼ぶ工夫(餌木、水場、ビオネスト) 多様な森の変化を活かす整備
安心して散策できる森 枯れ枝、枯れ木などの危険がない 歩道が歩きやすく整備されている	危険な枯れ枝、枯れ木の除去 歩道の起伏や凹凸の整備、切り株の除去 注意を促す説明板の設置



エリア	目標林型	整備方法
西 区	<ul style="list-style-type: none"> ・ 視界をさえぎる低木層やアズマネザサがなく、向かいの森林が見とおせる森。 ・ サクラのお花見ができる森。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 東西の森林が見とおせるように、アズマネザサを刈り払いコナラの枝を落とす。 ・ サクラを生かし、斜面に張り出した丸太テラスと休憩用のベンチを設置する。
東 区	<ul style="list-style-type: none"> ・ 高木層が適度に間伐され、林内が明るく草本植物が多い森。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ サクラを生かし、林床を明るくするため、強めに間伐する。 ・ アズマネザサを刈り払い、草本植物を育成する。
南 区	<ul style="list-style-type: none"> ・ 野鳥の餌を提供する樹種が多く、森林の階層構造が発達して、各階層を利用するいろいろな鳥類が生息できる森。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 間伐を行って林内を明るくし、森林の階層構造を発達させる。 ・ 野鳥の餌を提供する実がなる木や餌となる虫が多い朽ち木を優先的に残す。
北 区	<ul style="list-style-type: none"> ・ 針葉樹、広葉樹を問わず、複数種の樹木が存在する森林にする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 森林計画図 119-1, 119-4, 119-5 の毎木調査を基に強度間伐を実施する。
沼地水路	<ul style="list-style-type: none"> ・ トンボやホタルなどが生育できるよう、明るく草本植物が多い湿地、小川。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 湿地に生育する草本植物を育成する。 ・ 沼地の上下水路を整備し不法投棄ゴミを処理する。